

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3 年 11 月 5 日

【事業所概要（事業所記入）】

|         |                  |           |  |
|---------|------------------|-----------|--|
| 事業所番号   | 3470103007       |           |  |
| 法人名     | 株式会社 ビー・スマイル     |           |  |
| 事業所名    | グループホームケアセンター宇品  |           |  |
| 所在地     | 広島市南区宇品神田2丁目9番4号 |           |  |
| 自己評価作成日 | 令和3年10月7日        | 評価結果市町受理日 |  |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

|             |   |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | <a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470103007-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470103007-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a> |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地   | 広島市南区皆実町一丁目6-29      |
| 訪問調査日 | 令和3年10月21日           |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

|   |
|---|
| <p>1 個別ケア重視による可能性、能力の活性化（かかわりの重要性）<br/>2 安全、安心第一（看護職員による医療連携の円滑化）<br/>3 スタッフの充足によるサービスの質の向上<br/>4 新しい生活様式を取入れコロナ対策を徹底する事で健康保持する</p> |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

|   |
|---|
| <p>設立当初からの経験豊かな職員が多く、利用者個々人の身体介護だけでなく、質の高い生活と心を重視した柔軟かつ工夫のある援助を行っている。利用者との関わりを多く持ち、家庭的な環境のもとで利用者の有する能力に応じ、生活リハビリ、嚥下体操など取り入れ、自立できる生活を支援している。常駐看護師、職員は感染症予防に力を入れ、排泄時には毎回ホットタオルで清拭し清潔を心掛けている。小さな体調変化も見逃さない日々の観察や服薬も少なくする努力をしている。夜間は1時間ごとに安全確認がなされ、夜勤者の災害時訓練もたびたび行われている。終末医療ケアも関係者間の協力連携体制がとられている。屋上庭園でハーブや野菜を作り、利用者が収穫し調理に参加して楽しんでいる。家族が利用者と食事を共にすることもでき、ケアの状況の見学も自由に行われている。</p> |
|---|

| 自己評価              | 外部評価 | 項目( 3Fユニット )   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|-------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                   |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I 理念に基づく運営</b> |      |  |  |   |                   |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br><br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。                    | 各ユニットに掲示。スタッフ塾や運営会議で唱和している。  | 事業所理念を玄関、各ユニットに掲示し、スタッフ塾や運営推進会議で唱和し、常に基本の姿勢に立ち返る指針となっている。個別事例のケアの可能性、能力の活性化に繋げ、安全で安心の質の高いケアの実践に繋げている。                               |                   |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br><br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。                    | 地域の散歩中に、地域の方と挨拶を交わすなどしている。町内会の緊急避難場所、子供110番。コロナ禍にあり、以前のように地域の方とコミュニケーションが図りにくくなっている。 | 事業所として町内会に参加し交流を図っている。事業所を地域行事の会場や災害時の緊急避難場所、子ども110番等に提供して日常的に交流している。入り口に無料ジュースボックスを設置し、熱中症予防や一人暮らしの高齢者の休憩場所として開放し、地域住民と日常的に交流している。 |                   |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br><br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。                  | 運営推進会議において町内会長や老人会、女性会の役員、近隣の方との情報交換を行っている。特に認知症をテーマにしてより多くの方に知っていただくように務めている。       | /   | /                 |
| 4                 | 3    | ○運営推進会議を活かした取組み<br><br>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 今期は、コロナの感染防止の為運営推進委員会が、開催できてい.中止の案内や状況、身体拘束の報告など郵送している。                              | 今期は中止になっているが、消防署の防災講演、食事内容や雰囲気を知るために家族と食事を共にする機会の設定、利用者と職員の日ごろの会話やケアの見学、身体拘束の事例検討報告など利用者の生活が見える取組みを運営推進委員会の場を積極的に活用している。            |                   |
| 5                 | 4    | ○市町との連携<br><br>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。            | 介護保険更新時介護保険改正時に情報収集や集団指導参加、介護保険審査会参加によるいち早い情報入手、協力関係を築くよう取り組んでいるが、コロナ禍のためなかなか困難である。  | 市の会議に毎月参加し、医師からのアドバイス、医学情報、介護保険制度情報、講師の紹介など積極的に取り入れ、ケアの向上に取り組んでいる。事業所からは検討事例などでケアの取組みを発信して情報交換を行い協力関係を築いている。                        |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目( 3Fユニット )  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|---|---|---|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6    | 5    | <b>○身体拘束をしないケアの実践</b><br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 毎月1回安全衛生委員会、身体拘束が行われていないかどうか、3か月に1回の「身体拘束適正化対策委員会」においても各7Fで確認検討して、全員回覧、運営推進会議にも報告。日々のケアの中で、なぜそのような行動をされるのか、原因は何か、対応策等をよく観察しケアに反映している。 | 身体拘束の具体的な行為を検討、検証し拘束のないケアに全員で取り組み、運営推進会議の場でも理解してもらうよう努めている。入院先からつなぎ服で事業所に戻った利用者に対して職員が検討を重ね、アイデアを出し合い3日後には日常服に戻り、身体拘束をしないケアの実践に繋がったこともある。 |                   |
| 7    |      | <b>○虐待の防止の徹底</b><br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。                                      | 年に一度外部の研修に参加し、参加者が発表し、全員に周知徹底している。又、施設内の勉強スタッフ塾においても、年に一度必ず身体拘束、虐待防止をテーマに研修している。  |   |                   |
| 8    |      | <b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b><br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。                                 | 成年後見人制度の研修等に参加し必要に応じ情報交換するが現在は対象者がいない。  |   |                   |
| 9    |      | <b>○契約に関する説明と納得</b><br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。  | 契約時に十分な理解が得られるように管理者が中心に見学者対応し説明し、重要事項の変更時にも必ず文章を発送し押印返却頂き保管している。   |   |                   |
| 10   | 6    | <b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b><br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。   | ケアプランの説明時や面会時にご家族のご意向をお聞きする。家族ノートや申し送りノートに記載し全スタッフで共有しケアに反映している。  | 要望や意見は面会時や運営推進会議の意見交換、アンケートで聞き、家族ノートにその都度記載し、全職員で共有しケアや運営に反映させている。嚙下体操を取り入れてほしいとの要望もすぐ実践に結び付けている。   |                   |

| 自己評価                        | 外部評価 | 項目( 3Fユニット )  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|-----------------------------|------|---|---|---|-------------------|
|                             |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11                          | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。                                      | 年に2回の決算報告、年に2回の全員面接、毎月の運営会議、リーダー会議の際に個別の事案を持ち寄り意見を聞き、検討してフィードバックをしている。                                  | リーダー会議などで福祉用具の要望やシフトの変更、スタッフの増員など提案意見をその都度管理者に申し出ている。管理者は真摯に受け止め、解決策を導きだして要望に反映させている。マスクの不足時期の要望には、個人毎にマスクを箱で配布をしている。 |                   |
| 12                          |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。      | 半年ごとの職員と管理者との面接で賞与、昇給への反映や個々の長所を伸ばすアドバイス、会社の方針など伝え来期に反映できるように話あっている。                                    |   |                   |
| 13                          |      | ○職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。          | コロナ禍で十分な研修参加ができていないが通常は内外の研修に定期的、計画的にスタッフ参加の機会を与え、参加者は毎月実施されるスタッフ塾等で復命、回覧し全員周知している。                     |   |                   |
| 14                          |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 現在、コロナ禍の為外部との交流が行われていない。  |   |                   |
| <b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |   |   |   |                   |
| 15                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。        | 入居前に、ご本人ご家族と面会しよくお話を伺っている。同じ事業所内のデイサービスに通っておられる方には、こまめに声をかけている。入居当日は、特にスタッフの配置を手厚くし、マンツーマンで関われる体制にしている。 |   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目( 3Fユニット )  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|---|--|---|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16   |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br><br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。     | 入居前に、ご本人ご家族と面会し、しっかりお話を伺っている。コロナ禍の為、面会制限下でも、窓越し、ラインなどを活用し面会の機会を作り、その時にご家族の要望等を聞き取るよう努めている。事務所での荷物の受渡しの際も話を伺っている。 |   |                   |
| 17   |      | ○初期対応の見極めと支援<br><br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 入居前後の面接でアセスメントシートやバックグラウンドシートを作成して支援計画に活用している。ご本人を交えご家族の希望や必要と思う支援を実践可能なサービスにして提供している。                           |   |                   |
| 18   |      | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。                    | ご本人の得意なこと、今まで生活の中でしてきたことを出来るだけ続けられるよう共に生活しながら関係構築に努力する。できることはできるだけ自分で行うよサポートし自信に繋がるよう配慮する。                       |   |                   |
| 19   |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。     | 可能な範囲で、ご家族にもケアに参加頂けるようにケアプランに反映している。ご本人のお好きなものを買ってきて頂く、ご本人が落ち着かれない時に、電話、ラインのビデオ通話等でお話を聞いて頂くなど。                   |   |                   |
| 20   | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。                 | 現在は、コロナ禍の為ご面会や外出などに制限はあるが、ドライブの際に、自宅や過ごされていた地域をコースとして取り入れている。  | 馴染みの店に家族と食事に出かけたり、ドライブで自宅近辺を回るなど、関係を継続できる支援をしている。生活歴に友人の話や故郷の家族の話などを付け加えてデータ化し、職員間で共有し、コミュニケーションを図り馴染みの人との関係継続を図っている。 |                   |

| 自己評価                              | 外部評価 | 項目( 3Fユニット )   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|-----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                                   |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21                                |      | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。                | ご利用者同士の関係を把握し、リビングでの席等に注意している。また、ご利用者同士のコミュニケーションが円滑になるようスタッフが介入している。                      |   |                   |
| 22                                |      | ○関係を断ち切らない取組み<br><br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 退去時も滞在中の情報を他事業所にも提供し、変わらない生活が持続するよう協力している。アルバムの寄せ書きを渡したり、家族の許可を得て面会もしていたが、現在は自粛中である。       |   |                   |
| <b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |   |                   |
| 23                                | 9    | ○思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。                        | ご本人のご意向ををよくお聞きする。ご本人が訴えられない場合は、ご家族とお話を伺っている。   | 目の不自由な利用者がカレー作りの野菜を切りたいと言えばその準備をし、生活歴からぬか漬けが趣味と知ると、ぬか床を準備し、毎日かき混ぜお昼に食べている。また、俳句が趣味だと分かり、毎日俳句を壁に貼って楽しんでもらうなど、思いを把握することで、豊かな生活ができる支援を行っている。 |                   |
| 24                                |      | ○これまでの暮らしの把握<br><br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。                    | ご本人、ご家族に生活歴をお伺いしケアに反映している。他の事業所の相談員、ケアマネに電話にてお話を聞いている。直接、通所施設を訪問しどのようにケアされているのか等、把握に努めている。 |   |                   |
| 25                                |      | ○暮らしの現状の把握<br><br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。                                  | スリングシートを活用して出来る事出来ないことの把握に努め、ケアプランに反映している。   |   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目( 3Fユニット )   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|--|--|---|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26   | 10   | <b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b><br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | 毎月一回カンファレンスを開催している。毎日モニタリングを行い、ケアプラン作成時に活用している。ご本人、ご家族には常日頃からご意見や、ご要望をお伺いしている。看護師、主治医にも、適宜相談しプランに反映している。 | 家族、医師、看護師、職員で検討を行い、気づきや工夫を反映させた介護計画を作成している。普段の様子を観察記載しているノートが介護計画作成に活用されている。利用者の洗濯の積み具合の低下に早く気づき、シャツは無理だがタオルなら畳めると現状に即した介護計画が作成されている。 |                   |
| 27   |      | <b>○個別の記録と実践への反映</b><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。                        | 個別ケースに記入している。モニタリングを毎日行い、ケアプラン作成時に活用している。日々の情報や改善した方が良い事柄など、申し送りノートに記入し、カンファレンス時に再度改めて話し合っている。           |   |                   |
| 28   |      | <b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b><br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。               | ご本人、ご家族の希望を取り入れ思いにできるだけお答えする。例えば、リハビリ、生け花教室に参加 など柔軟な個別ケアをしているが現在は自粛中である。                                 |   |                   |
| 29   |      | <b>○地域資源との協働</b><br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。                         | 散歩中の近所の方との話、お花を頂いたり、近所のなじみのお店に（お漬物、好きなお惣菜）買い物に行くが、自粛中。   |   |                   |
| 30   | 11   | <b>○かかりつけ医の受診支援</b><br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。                    | 看護職、リーダーより、ご家族に連絡し状態など伝え、ご家族同意のうえで受診している。入居以前と同じ主治医に往診頂く事で、安心して生活を送って頂ける。                                | 利用者、家族の思いを大切に利用前と同じ医療機関の主治医に往診してもらい健康管理に努めている。主治医以外の外部受診時には家族に連絡し、承諾、同意を得ている。受診結果は速やかに主治医、家族に報告し、連携を取り合い、利用者が適切な医療を受けられる支援に努めている。     |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目( 3Fユニット )   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|--|--|---|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31   |      | <b>○看護職員との協働</b><br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。                      | 夜勤明者が健康観察報告書を記入しスタッフやご入居者との、日々の状況把握に努めている。毎朝看護師がユニットの様子観察に訪れコミュニケーションを取られている。            |   |                   |
| 32   |      | <b>○入退院時の医療機関との協働</b><br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。  | 入院時サマリーを作成し情報を提供している。コロナ禍にて現在はお見舞いに行けないが看護師・スタッフがご家族と連絡をとって状況把握に努めている。                   |   |                   |
| 33   | 12   | <b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b><br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 契約時に看取りについてご家族に当施設の方針を十分に説明し、ご理解を頂いたうえで同意書ももらっている。主治医とご家族がスムーズにコミュニケーションが取れるように取り組らせて頂く。 | 終末期の対応は事業所でできること、できないことの説明を行った上で、再三家族の意向の確認を行い、医師、看護師、職員との連携を取り合っチームで取り組んでいる。職員は、個々の利用者に相応しい看取りを工夫し、音楽・香り・花などで環境にも配慮している。 |                   |
| 34   |      | <b>○急変や事故発生時の備え</b><br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。   | マニュアル作成し全スタッフに応急処置・初期対応について細かく指導伝達している。ご利用者の状態を日々観察し特変あれば看護師へ報告、必要あれば主治医に指示を仰ぐ事を徹底している。  |   |                   |
| 35   | 13   | <b>○災害対策</b><br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。   | 随時消防署に届け出て、消火訓練や避難訓練、夜間訓練、運営推進会議でも訓練や消防署予防課の協力を得て公園など実施してもらっている。今後も10月、1月に実施の予定。         | 水害、火災、地震の避難方法の講習を運営推進会議のメンバーと共に受講し、災害に備えている。夜勤者向けの災害対策の講習も事業所で適宜行われ安全に配慮している。地域との連携、協力体制も築かれ、災害時には1週間分の備蓄の保存もされている。       |                   |



| 自己評価                     | 外部評価 | 項目( 3Fユニット )   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|--------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                          |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |  |   |  |                   |
| 36                       | 14   | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br><br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。                 | ご利用者の思いを尊重し無理強くないよう傾聴や寄り添いを心掛けている。スタッフの体験や対応を細かくケース記録しスタッフ間で情報共有して良い対応ができるように努めている。                       | トイレや入浴時の誘導の声掛け、日常会話などの良好対応や、NGワードなど職員間で共有して一人ひとりの人格を尊重し誇りを傷つけない言葉かけを日々試行錯誤しながら対応している。  |                   |
| 37                       |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。                      | コロナ禍にて散歩や外気浴のタイミングがあるが感染予防対策を十分しマンツーマン対応にてケアを実施させて頂く。お手伝いや役割をお願いする時も自己決定できるよう提案をさせていただく。                  |  |                   |
| 38                       |      | ○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | ご利用者の体調、精神状態に合わせて、個々にケアを変更し出来る限り希望に沿って支援させて頂く。  |  |                   |
| 39                       |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。                                   | 個々の介護度に合わせて出来るだけ整容やお化粧等声掛けして身だしなみをして頂く。起床時にはスタッフもお手伝いし髪を梳かしたり、化粧液をお塗させて頂く。訪問理美容の利用で、個人個人の希望を聞き利用頻度を決めている。 |  |                   |
| 40                       | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。      | お米とぎ、食材切り、ホットプレートを利用してのお菓子や御飯作り等お手伝いを頂いている。   | 野菜の皮むき、盛り付けなど利用者が役割を楽しめるよう支援している。おはぎづくりでは小豆の煮方など職員が教えてもらうこともあり、利用者の能力を活かし、楽しみな食事時間となっている。屋上で利用者も一緒に野菜を栽培し収穫から調理、食事まで季節感を楽しめる支援もしている。 |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目( 3Fユニット )   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|--|---|---|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41   |      | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>            | <p>食事毎に食事量のチェック、1日分の水分チェックしている。十分に摂取出来てない方は主治医に相談しエンシュアリキッドやラコール等で調整している。嚥下障害の方にはトロミ食・ソフト食・キザミ食などの形態を変えている。</p> |   |                   |
| 42   |      | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>                     | <p>食後の口腔ケアの徹底している。個々の能力に応じてケアしている。歯間ブラシ、洗浄剤などで清潔を心掛けている。ご家族の希望に応じて歯科医の往診にてブラッシングして頂いている。</p>                    |   |                   |
| 43   | 16   | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>     | <p>排便リズムや習慣など把握しタイミングをみてトイレ誘導する。夜間のトイレはパット交換を行い清潔にいられるように配慮する。トイレ誘導は安全を確保しつつADLを考慮する。</p>                       | <p>利用開始時にリハビリパンツの利用者に排泄パターンによるトイレ誘導を行い、布パンツに改善された例も多くある。布パンツへの移行には、声掛けのタイミングなど個別ケアの支援を行っている。トイレの中にホットタオルが常備され、排泄の度に洗浄または清拭することで尿路感染予防にも努めている。</p> |                   |
| 44   |      | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>                     | <p>排便状況や量を記録し個々の排便リズムの把握、常に排便状況を把握している。毎朝のむヨーグルトと果物にバナナを提供している。水分摂取の進め、管理、廊下歩行、運動の進めをしている。</p>                  |   |                   |
| 45   | 17   | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | <p>個々の体調管理や本人の習慣などADLを重視した支援にしている。入浴前のバイタルチェック、安全を考慮したスタッフの2名介助、応援がある。</p>                                      | <p>入浴時間・回数・同性介助の希望、一番風呂希望など利用者本人に合わせるよう支援している。浴槽を跨ぐことができない利用者を湯船に入れるよう福祉用具などを導入し、安全で快適な入浴支援を行っている。</p>  |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目( 3Fユニット )   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|--|---|---|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46   |      | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>   | <p>夜間1時間ごとの巡室、照明や温度管理、そして昼食後の仮眠を導入。年2回の布団滅菌乾燥機による殺菌消毒などでの安眠を確保している。</p>   |   |                   |
| 47   |      | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>   | <p>服薬管理表の作成及び臨時薬や変更時を申し送りノート、ケース記録への記入することで、情報共有している。また看護師との連携や薬局の方が介入している。</p>   |   |                   |
| 48   |      | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>                              | <p>個々の能力に応じて役割を提供し意欲的に活動していただけるよう考慮している。調理、洗濯物たたみや体操、レクリエーション(歌、塗り絵、パズルなど)は楽しく参加していただけるよう創意工夫をしている。またお花見ドライブなど季節行事も行っている。</p>                         |   |                   |
| 49   | 18   | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | <p>コロナ禍で外出機会はありませんが、屋上や施設周辺での外気浴を実施している。</p>  | <p>利用者が屋上に外気浴や花や野菜の水やりに行きたいと要望すると、職員は本人の希望にできる限り添えるよう支援している。常に一人ひとりの体調や状態に合わせた外出への対応を職員で話し合い、協力して日々の暮らしを豊かにするよう努めている。</p> |                   |
| 50   |      | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>                              | <p>日用品などの買い物支援の為、5000～10000円程度の預り金を管理させていただき、ご家族の了承を得てから支援させていただいている。物盗られ妄想などの混乱状態を避ける為、預り金以外は家族に管理して頂いている。不安不穏状態でお金を探される時には落ち着かせるよう声掛けをさせて頂いている。</p> |   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 ( 3Fユニット )  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|---|---|---|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br><br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。   | 年賀はがきや暑中見舞いはがきを個々の能力に応じ作成し発送している。ご本人が家族への電話を希望される時は、居室にて施設の携帯電話を利用して頂いている。また電話の前後には混乱防止の為にスタッフが相手様と話させて頂いている。コロナ禍で面会が制限されているためビデオ通話を利用している。 |   |                   |
| 52   | 19   | ○居心地の良い共用空間づくり<br><br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 季節のお花を玄関やリビング、洗面所に飾って頂いている。またリビングでは、季節感のある壁画を毎月ご利用者と協力して作成している。   | 居室、トイレの場所に目印をつけ混乱を招かないよう工夫している。季節を感じられるよう四季折々の草花を絶やささないよう配慮している。指先の訓練も兼ねて季節ごとに壁面飾りを利用者と協力して作成し飾って楽しみ、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 |                   |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br><br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。  | 安全でくつろげる空間が保てるように、個々の身体や精神状態に合わせた席の配置やレイアウトを工夫している。カンファレンスやミーティングで随時検討し、席の配置変更がある時はご利用者が混乱されることが無いように申し送り徹底している。                            |   |                   |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。  | ご本人のお気に入りのもの、思い出のものや愛用されている調度品を持ってきて頂き、ご本人が使い易いところに配置している。各居室ではご家族の写真やひ孫様からのお手紙などを飾られている。   | 8畳の部屋は明るく、使い馴れたタンスやベッド、趣味のものなど愛用の品に囲まれ、居心地よい空間になっている。各居室を利用者が間違えないようカーテンの色を変えるなど、工夫がされている。                                |                   |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br><br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。  | 廊下、トイレ、バスルームへの手摺りを取り付けている。トイレ、居室が分かり易いように張り紙や大きな目印を作っている。キャスター付きのシャワーチェアを必要時に応じて使用している。   |   |                   |

V アウトカム項目( 3Fユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

|    |  |                       |   |
|----|--|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。                     | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の3分の2くらいの<br>③利用者の3分の1くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | <input type="radio"/> | ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない                    |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている                | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている                          | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている                    | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の3分の2くらいと<br>③家族の3分の1くらいと<br>④ほとんどできていない    |

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                          | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように<br><input type="radio"/> ②数日に1回程度<br><input type="radio"/> ③たまに<br><input type="radio"/> ④ほとんどない                    |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている<br><input type="radio"/> ②少しずつ増えている<br><input type="radio"/> ③あまり増えていない<br><input type="radio"/> ④全くいない             |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている  | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が<br><input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが<br><input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない       |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                             | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が<br><input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが<br><input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない    |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                         | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が<br><input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが<br><input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

| 自己評価       | 外部評価 | 項目(2ユニット)  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------------|------|--|---|------|-------------------|
|            |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 |      |  |   |      |                   |
| 1          | 1    | ○理念の共有と実践<br><br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。                    | 各ユニットに事業所理念を掲示し、スタッフ勉強会や運営会議で唱和している。  |      |                   |
| 2          | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br><br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。                    | ・現在はコロナ禍で難しいが、これまでは町内会、敬老会に参加し、施設を地域行事の会場や町内会会議、災害時の緊急避難場所、子供110番等に提供してきている。地元中学生の職場体験実習の受け入れもを行っている。無料ジュースボックスをエントランスに設置し、熱中症予防の為に開放、一人暮らしの高齢者の為に休憩場所等、多目的に使用している。 |      |                   |
| 3          |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br><br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。                  | ・現在はコロナ禍で中止しているが、運営推進会議において、町内会長や老人会、女性会の会員、近隣の方との情報交換を行ってきた。特に認知症をテーマに、より多くの人に知ってもらえるよう取り組んでいる。身体拘束委員会の報告もしている。  |      |                   |
| 4          | 3    | ○運営推進会議を活かした取組み<br><br>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 2カ月に1回の割で実施していたが、現在は中止の案内や身体拘束の資料を送り、実情を知ってもらっている。特に認知症を理解して頂くために日常の様子(レクリエーション、工作や食事・おやつ作り、ケアの状況等)を見学してもらい参加型で意見交換をしてアドバイスを貰っている。                                  |      |                   |
| 5          | 4    | ○市町との連携<br><br>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。            | ・介護保険更新時、介護保険改正に伴う情報の入手、毎月4回の介護保険審査会会議参加による情報交換等で協力関係を築くよう取り組んでいるがコロナ禍のため自粛中で会議も少なくなっている。   |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2ユニット)   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|---|---|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6    | 5    | <b>○身体拘束をしないケアの実践</b><br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回安全衛生委員会で、身体拘束が行われていないかを各フロアで確認、検討している。3か月に一回の「身体拘束適正委員会」においても各階でチェックし検討し全員回覧、運営推進会議でも報告している。</li> <li>車椅子は基本的に移動手段とし、椅子に座り替えて頂いている。</li> </ul> |      |                   |
| 7    |      | <b>○虐待の防止の徹底</b><br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>社外の虐待防止研修に必ず参加し、参加者が研修後に発表を行って全員への周知を行う。</li> <li>社内の勉強会でも、年1回必ず虐待をテーマに取り上げ、全員が学ぶ機会を設けている。</li> </ul>  |      |                   |
| 8    |      | <b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b><br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。                                 | 成年後見人制度の研修会等に参加し、情報交換する。  |      |                   |
| 9    |      | <b>○契約に関する説明と納得</b><br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>契約時に十分な理解が得られるよう、管理者が中心となって説明を行うと共に、重要事項の変更時も必ず文書を送って押印返却頂き、ファイリングしている。</li> </ul>   |      |                   |
| 10   | 6    | <b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b><br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ケアプラン説明時や受付時等に、その都度ご家族の要望、意見をお聴きし、申し送りノート、または家族ノートに記載してスタッフ全員に周知するようにしている。</li> </ul>  |      |                   |



| 自己評価                        | 外部評価 | 項目(2ユニット)   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|-----------------------------|------|---|--|------|-------------------|
|                             |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11                          | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。                                      | ・年2回の全体会議、年2回の全員面接や毎月の運営会議、リーダー会議等で意見を聞くようにしている。また、必要に応じて個別での話し合いの機会を設けて意見を聞いている。  |      |                   |
| 12                          |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。      | ・半年ごとのフィードバック面接、賞与、昇給への反映、個々の長所を伸ばす声掛けに努めている。  |      |                   |
| 13                          |      | ○職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。          | 現在コロナ禍でできていない事もあるが、これまでは内外研修に定期的、計画的にスタッフ参加の機会を与え、スタッフ塾で報告、共有するようになっている。施設内で技術研修、サブリーダー研修を毎年実施していた。                                  |      |                   |
| 14                          |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | ・地域包括支援センター主催のグループホーム交流会に申し、情報交換している。開催自粛中   |      |                   |
| <b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |   |  |      |                   |
| 15                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。        | ・入居前にご家族、ご本人との面接を行ってよく話を聞き、詳しい情報を得るよう努めている。・ご本人と直接会って話をし、不安や要望を的確に把握して信頼関係を構築できるよう努めている。・入居時には個別に対応できるようにスタッフ体制を厚くして、よく話を聴けるようにしている。 |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目( 2ユニット )  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|---|---|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16   |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br><br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。     | ・入居前にご家族よりよく話を伺い、要望等をお聴きしている。<br>・面会時には近況を詳しく話して情報を共有し、思いや意見をお聴きして、信頼関係を築いていけるよう努めている。  |      |                   |
| 17   |      | ○初期対応の見極めと支援<br><br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | ・入居前後の面接で、アセスメントシートとバックグラウンドシートを作成し、支援計画に活用している。<br>・ご本人とご家族、スタッフで話し合っって要望をしっかりと聴きし、最も必要と思われる支援を見極め、具体的に実践可能なサービスの提供に努めている。                   |      |                   |
| 18   |      | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。                    | ・ご本人の得意な事、これまでの生活でしていた事を極力続けていくよう配慮し、共に作業を行いながら、関係の構築に努めている。<br>・ご本人の出来る事、出来ない事をきちんと把握して、出来る事は安易に手伝わず、極力自分でして頂けるように取り組み、自信を持って生活して頂けるよう努めている。 |      |                   |
| 19   |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。     | ・通院の付き添い等、出来ることはご協力頂いている。<br>・ご家族には、ご利用者のご様子を詳しくお伝えし、情報を共有しながら共にご本人を支えていけるよう取り組んでいる。  |      |                   |
| 20   | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている。                | ・現在はコロナ禍で難しいがご家族の協力を得て、馴染みのお店に食事に行っている。<br>・馴染みの人（生まれ故郷の家族、友人等）の話をしてコミュニケーションを図っている。  |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目(2ユニット)  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|--|--|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21   |      | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。                | 日頃よりご利用者同士の関係をよく見て把握し、リビングでの席の配置に注意している。・ご利用者同士のコミュニケーションが円滑に進むよう、職員が間に入って共通の話題を提供する等の配慮をしている。   |      |                   |
| 22   |      | ○関係を断ち切らない取組み<br><br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | ・他事業所に正確な情報を提供している。<br>・退去時には、思い出のアルバム色紙にスタッフが寄せ書きを入れたものを作成し、ご家族にお渡ししている。  |      |                   |
| 23   | 9    | ○思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。                        | ・ご本人の希望をよくお聴きするよう心掛けている。・普段のご様子、言動等をよく観察し、言葉にならない思いや望みの把握に努め、スタッフ間で情報交換を行い、カンファレンスでよく話し合っており、出来る限りその人らしい生活が出来るよう配慮している。  |      |                   |
| 24   |      | ○これまでの暮らしの把握<br><br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。                    | ・ご本人、ご家族に生活歴をよくお聴きしこれまでの暮らしを把握し、ケアプランに活かすよう努めている。・使い慣れた家具や食器、衣類等を持ち込んで頂き、ご本人が安らげる環境を整えられるよう、ご家族と相談している。  |      |                   |
| 25   |      | ○暮らしの現状の把握<br><br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。                                  | ・1日2回と体調不良時にバイタルチェックを行い、1人1人のバイタルやご様子を記録し、全スタッフが確認するよう努めている。・ケアプランの作成更新時には、ストレングスシートを用いて出来る事、出来ない事の現状把握に努めている。・カンファレンスでもADLに変化が無いのか、精神状態は安定しているか等を随時話し合い、対応を行っている。 |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目( 2ユニット )  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|---|---|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26   | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | ・毎月1回ケアカンファレンスを開催している。・通常3か月に1回モニタリングを行い、ご本人、ご家族、スタッフ、看護師等の意見や要望を反映してケアプランを作成している。・カンファレンスノートを作成し、カンファレンスに参加できなかったスタッフにも内容を周知するよう努めている。 |      |                   |
| 27   |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。                        | ・個別ケース記録により情報を共有、ケアチェック表でケアの実践状態を把握している。・スタッフ間でも普段からコミュニケーションをとって意見交換を心掛け、最終的にケアカンファレンスで検討を行い、より良い方向で支援できるように努めている。                     |      |                   |
| 28   |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。               | ・ご本人、ご家族の希望や意向をよく伺い、出来る限り要望に応えられるよう取り組んでいる。   |      |                   |
| 29   |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。                         | ・現在はコロナ禍の為難しいが、これまでは散歩時にご近所の方とお話をしたり、近所の馴染みのお店に買い物に行ったりしていた。  |      |                   |
| 30   | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。                     | ・受診時にご家族にご連絡し、納得されたうえで受診して頂くようにしている。・主治医以外の受診をする場合は、受診結果をご家族と主治医に速やかに連絡し、より良い関係の構築に努めている。   |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目( 2ユニット )   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|--|--|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31   |      | <b>○看護職員との協働</b><br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝看護師がユニットに様子観察に訪れ、健康観察報告書を確認するとともに、スタッフ、ご利用者とコミュニケーションを取り日々の状況把握に努め、随時適切な看護を受けられるよう取り組んでいる。</li> </ul>                |      |                   |
| 32   |      | <b>○入退院時の医療機関との協働</b><br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院時サマリーを作成し、情報提供を行っている。</li> <li>・随時スタッフが訪問し、ご本人の状況を把握するよう努めている。</li> <li>・治療方針や早期退院に向け、病院関係者との情報交換を行っている。</li> </ul>  |      |                   |
| 33   | 12   | <b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b><br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看取りについて、ご家族に当施設の方針を十分に説明し、ご理解を頂いたうえで同意書を貰っている。</li> <li>・主治医とご家族がスムーズにコミュニケーションを取れるよう取り計らっている。</li> </ul>              |      |                   |
| 34   |      | <b>○急変や事故発生時の備え</b><br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルを作成し、全スタッフに応急処置、初期対応について細かく指導、伝達している。</li> <li>・ご利用者の状態を日々観察し、特変があれば看護師へ報告を行い、必要な場合は主治医に指示を仰ぐ事を徹底している。</li> </ul> |      |                   |
| 35   | 13   | <b>○災害対策</b><br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・随時消防署に届け出て消火、避難訓練を定期的実施している。</li> <li>・運営推進会議において、年に1回は消防予防課の職員を招き、災害について講演して貰っている。</li> </ul>                         |      |                   |

| 自己評価                     | 外部評価 | 項目(2ユニット)   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|--------------------------|------|---|---|------|-------------------|
|                          |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |   |   |      |                   |
| 36                       | 14   | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br><br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。                | ・不穏になったり、拒否があったりする時ご本人の思いを尊重し、無理強いしないよう傾聴や寄り添いを心掛けている。また、成功した対応をケースに記録したり、カンファレンスで話し合う等して、スタッフ間で情報共有してより良い対応を行うよう努めている。 |      |                   |
| 37                       |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。                     | ・散歩、入浴時等マンツーマン対応の場面では、特にご本人の理解を得てケアを実施させて頂く。お手伝いや役割をお願いする時も、選択できるよう複数の提案をしている。  |      |                   |
| 38                       |      | ○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | ・ご利用様様の体調、精神状態に合わせて、個々にケアを変更し、出来る限り希望に添って支援させて頂くよう取り組んでいる。  |      |                   |
| 39                       |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。                                  | 起床時には、個々の介護度に合わせて介助しながら、出来るだけ整容やお化粧品をご自分で頂くように援助している。着る服も出来るだけ自分で選んで貰うようにしている。  |      |                   |
| 40                       | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。     | ・野菜の皮むきや調理の補助、盛り付け等個々の力に応じた役割をお願いし、お手伝いして頂く。・自炊の日には目の前でホットプレートで料理を作る等、一緒に料理をして、作る過程も楽しんで頂けるよう取り組んでいる。                   |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目( 2ユニット )   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|--|--|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41   |      | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>            | <p>・食事毎に摂取量をチェックし，十分に摂取できない方には捕食や好物の提供を行っている。また，体重や体調の変化に応じて食事量の調整をしている。混乱などある場合は，配膳の工夫，必要に応じて声掛けや，介助をさせて頂く。・嚥下状態に合わせて，刻んだり，水分にはトロミをつけたりと形態を変えて提供している。・食器やコップの形態，素材もそれぞれの方が使いやすいよう気を配っている。</p> |      |                   |
| 42   |      | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>                    | <p>・起床後，毎食後のケアを徹底し，習慣化に努めている。個々の状態に応じて，歯間ブラシ，ハミングッド等を使用し，清潔を心掛けている。必要に応じて声掛け，介助を行っている。</p>   |      |                   |
| 43   | 16   | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>     | <p>・ご本人の希望を踏まえながら出来るだけ普通の下着を使用して頂き，排泄リズムや習慣などを把握してタイミングに合わせて声掛け，誘導を行っている。夜間のトイレは，個々に合わせて声掛けやパッド交換を行い，清潔を保つよう配慮している。誘導は常に安全を確保しつつADLを考慮して行っている。</p>   |      |                   |
| 44   |      | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>                     | <p>・個々の排便リズムを把握し，常に便の形状や量を記録して排便状況を把握するようにしている。水分摂取量に注意し，散歩や廊下歩行，体操等の運動を毎日行って自然排便を促すよう取り組んでいる。・毎朝バナナヨーグルトを提供している。</p>  |      |                   |
| 45   | 17   | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | <p>・ご本人の習慣や入浴方法を重視した支援を行っている。個々の体調に留意し，入浴前のバイタルチェック，安全を考慮した他のスタッフの応援，交代がある。</p>  |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目( 2ユニット )   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|--|---|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46   |      | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々<br/>の状況に応じて、休息したり、安<br/>心して気持ちよく眠れるよう支<br/>援している。</p>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間1時間ごとの巡室、照明、温度・湿度の管理、調節を個々人の休みやすい状態に配慮して行っている。</li> <li>・体調を考慮し、1時間前後の午睡を取って頂く。</li> <li>・年に2回の布団滅菌乾燥機による殺菌消毒などでの安眠を確保する。</li> </ul>  |      |                   |
| 47   |      | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬一覧表、服薬管理表、臨時薬表を作成し、変更時は随時書き換え、申し送りノート、ケース記録への記入で情報共有をしている。</li> <li>・看護師や薬局との連携、情報交換をしている。</li> </ul>   |      |                   |
| 48   |      | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の能力に応じ役割を提供し、意欲的に活動して頂けるよう考慮している。</li> <li>・調理補助、洗濯物の干したたみ、お盆拭き、カレンダーの交換、体操、レクリエーションは楽しく参加して頂けるよう創意工夫をしている。(歌、トランプなどのカードゲーム、クイズなど)。</li> <li>・毎月、季節の部屋飾りを作って自室に飾って貰っている。</li> </ul> |      |                   |
| 49   | 18   | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の体調に合わせて散歩をしている。</li> <li>・現在はコロナ禍で出来ていないが、お花見等季節の行事を年2回開催している。</li> <li>・以前は、ご家族との買い物や外食、1泊2日程度の家族旅行などもされていた。</li> </ul>   |      |                   |
| 50   |      | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日用品等の買い物支援の為、5千円から1万円程度の預かり金を管理させて頂き、ご家族の了承を得てから支援を行っている。</li> <li>・物盗られ妄想等の混乱状態を避けるため預り金以外は、ご家族に管理して頂いている。</li> </ul>  |      |                   |



| 自己評価 | 外部評価 | 項 目( 2ユニット )  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|---|--|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br><br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。   | ・年に2回年賀はがき、暑中見舞いはがきを個々の能力に応じ作成し、発送している。・ご本人がご家族や知人への電話を希望される時は、居室にて施設のスマートフォンを利用してビデオ通話等されている。・又、電話の前後には混乱防止のため、スタッフが相手様と話させて頂いている。        |      |                   |
| 52   | 19   | ○居心地の良い共用空間づくり<br><br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | ・季節のお花を玄関やリビングに活けて頂いている。リビングには季節に応じた壁面飾りを、各居室には壁飾りを毎月ご利用者と協力して作成し、飾っている。・月刊のイベントやお誕生日をお知らせしたり、手作りのカレンダーやスナップ写真等掲示している。                     |      |                   |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br><br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。  | ・安全でくつろげる空間を保てるように個々の身体、状態に合わせた席の配置、レイアウトを工夫している。・カンファレンスやミーティングで随時検討し、席の配置変更がある時は必ず申し送り、ご利用者が混乱することの無いように徹底している。                          |      |                   |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。  | ・ご本人のお気に入りのもの、思い出のもの、愛用されている調度品等持ってきて頂き、ご本人が使いやすいところに配置する。・各室では、ご家族の写真やひ孫様が描いた絵やお手紙を飾られたり、プレゼントを置いたりしている。・工作で作ったご本人の作品、習字、カレンダー等も貼ったりしている。 |      |                   |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br><br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。  | ・バリアフリー、廊下、トイレ、バスルームに手すりを取り付けている。・トイレ、居室が分かり易いように張り紙や大きな目印を作っている。・入浴では、必要に応じてキャスター付きのシャワーチェアや入浴用ベルトを使用している。                                |      |                   |

V アウトカム項目( 2ユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

|    |  |   |   |
|----|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。                     | ○ | ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の3分の2くらいの<br>③利用者の3分の1くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○ | ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない                    |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている                          | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている                    | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の3分の2くらいと<br>③家族の3分の1くらいと<br>④ほとんどできていない    |

|    |   |                       |   |
|----|---|-----------------------|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                          | <input type="radio"/> | ①ほぼ毎日のように<br>②数日に1回程度<br>③たまに<br>④ほとんどない                    |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> | ①大いに増えている<br>②少しずつ増えている<br>③あまり増えていない<br>④全くいない             |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている  | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての職員が<br>②職員の3分の2くらいが<br>③職員の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない       |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                             | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                         | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての家族等が<br>②家族等の3分の2くらいが<br>③家族等の3分の1くらいが<br>④ほとんどできていない |

| 自己評価              | 外部評価 | 項目( GH4F )   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|-------------------|------|--|---|------|-------------------|
|                   |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I 理念に基づく運営</b> |      |  |   |      |                   |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。                    | 理念を玄関に掲示し、スタッフ塾や施設内研修時に、理念の共有に取り組んでいる。また、カンファ時や困難事例等でケアにつまずいた時等、基本に立ち帰る指針にもなっている。                               |      |                   |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。                    | コロナ禍前は、地域行事への参加や、こども園との交流、ボランティア、職場体験などの受け入れ、子ども110番等、地域の一員としての役割に取り組んでいた。コロナ禍の中でも散歩時は、感染対策をして地域の方への挨拶等を心掛けている。 |      |                   |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。                  | コロナ禍までは、地域の方やご家族に認知症の理解や対応方法などを、アドバイスする用意はあるが、現在は感染予防対策のためできていない。   |      |                   |
| 4                 | 3    | ○運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 2か月に1度、運営推進会議を感染対策をし開催できた時もあったが、感染拡大に伴い報告のみとなっている。中止の案内や身体拘束の資料を郵送で送っている。                                       |      |                   |
| 5                 | 4    | ○市町との連携<br>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。            | 特に介護保険の改定があった場合等、不明な点等を問い合わせ、実践に生かしている。運営推進会議の参加要請はしている。  |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目( GH4F )  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|---|--|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6    | 5    | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | 月に1回の安全衛生委員会、3カ月に1回の「身体拘束適正化委員会」で検討し結果を運営推進会議や全員回覧している。スタッフ塾においても、研修を行い周知徹底を行っているが、現在はコロナ禍で資料を回覧し、カンファレンス等で話し合う機会をもっている。 |      |                   |
| 7    |      | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>                                      | 3か月に1度の「身体拘束適正委」へ報告を行い、身体拘束防止に努め、施設内での虐待防止を日々の実践の中で、これぐらいはいいだろうではなく、見方を変えれば虐待に繋がることを身をもって検証し、試行錯誤を重ね、予防に努めている。           |      |                   |
| 8    |      | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>                                 | 制度については、スタッフ塾等施設内研修において繰り返し研鑽している。現在はコロナ禍で研修自体の開催ができない場合は、資料を回覧しカンファレンス等で周知徹底している。後見人制度を利用しているご利用者がいるので関係者のかかわりがある。      |      |                   |
| 9    |      | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>  | 重要事項説明書を基に、十分に説明を行い、家族などからの質問も丁寧に説明し理解を得られるよう努めている。  |      |                   |
| 10   | 6    | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>   | 運営推進会議においてご家族もご出席いただき、ご意見を伺ったり、面会時やケアプランの作成更新時に要望をお聞きし、ケアプランに反映するよう努めている。  |      |                   |

| 自己評価                        | 外部評価 | 項目( GH4F )  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|-----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
|                             |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11                          | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。                                      | 年2回の個別面談や、毎月の運営・リーダー会議等でスタッフの意見や要望を挙げ、対応の機会を設けている。  |      |                   |
| 12                          |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。      | スタッフ個々の家庭の事情や、通勤の交通機関事情、身体状況に応じて、環境を整備し働きやすい環境に心掛け、メンタル等にも配慮し心や体の健康の整備に努めている。                                   |      |                   |
| 13                          |      | ○職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。          | より良いケアの実践の為に、不足している点や向上させる目的で、施設内外での研修に積極的に参加できるよう機会の提供に心掛けている。コロナ禍で開催自体が減少している。                                |      |                   |
| 14                          |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | コロナ禍であっても、今まで培ってきたネットワークを活用し、情報収集に努めサービスの質の向上に努めている。  |      |                   |
| <b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |   |   |      |                   |
| 15                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。        | インテークで、入居前の生活状況、ご利用前のサービス、ご家族やご本人の情報収集を行い、不安なく生活していただくために、課題を把握し、ユニット内で周知徹底し、他の方との関係の構築やスタッフとの信頼関係の早期の構築に努めている。 |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目( GH4F )   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|--|--|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16   |      | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>     | <p>各々のご家族との関係性に留意しながら、ご本人に対するご家族の思いに寄り添い、安心していただけるように努めている。</p>  |      |                   |
| 17   |      | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p> | <p>十分な情報収集とアセスメントを行い、課題を分析把握し、訪問医療等の利用を含め、スタッフ全員が適切な対応を行うように努めている。</p>   |      |                   |
| 18   |      | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>                    | <p>スタッフは、ご本人の生活歴を把握し、出来る事出来ない事を見極め、これまで培ってこられた歩みに尊敬の念を持ち感謝を忘れずに支援させていただいている。</p>   |      |                   |
| 19   |      | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>     | <p>ご家族が面会に来られた際には、現在は短時間であるが、日頃の生活状況や変化等を報告相談し、ともにご本人を支えていく関係作りに努めている。また、ご家族の状況についても把握させて頂いている。必要な場合は、電話やラインを利用させていただいている。</p> |      |                   |
| 20   | 8    | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>                 | <p>コロナ禍であるが、ご本人の身体心理状況の変化に留意しながら、面会や電話またはテレビ電話、ラインなど活用し、ご家族との時間を少しでも持つていただけるように支援している。</p>                                     |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目( GH4F )  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|---|---|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21   |      | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。                 | ご利用者間の関係性に留意し、ご利用者の気持ちの変化を受け止め、時にはスタッフが仲介する等し、できるだけ笑顔で過ごしていただけるように支援している。                       |      |                   |
| 22   |      | ○関係を断ち切らない取り組み<br><br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 亡くなられた際は、葬儀や通夜に列席したり、退所時にはこれまでの生活状況のわかる写真や作品などをお渡しし、エピソード等もお話したり、スタッフ間ではデスクカンファレンスを行っている。現在は自粛中 |      |                   |

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

|    |   |   |  |  |  |
|----|---|---|--|--|--|
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。     | 日常生活を送られる中での言動や行動、会話の中からご本人の思いや意思をお聞きし、スタッフ間で周知させ、ケアにつなげている。また、意思の疎通が困難な方の場合、ご本人の立場に立ち、支え寄り添うように努めている。 |  |  |
| 24 |   | ○これまでの暮らしの把握<br><br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | インテーク時はもちろんの事、ご本人との会話やご家族との会話の中や、利用されていたサービス等から情報提供を受けたり、聞き取ったり把握している。                                 |  |  |
| 25 |   | ○暮らしの現状の把握<br><br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。               | 日頃の身体心理状況をケースに記録し、往診時や定期検査等のデータを把握し、少しの変化も留意し把握させている。  |  |  |



| 自己評価 | 外部評価 | 項目( GH4F )   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|--|---|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26   | 10   | <b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b><br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | 計画作成担当者とケアプラン担当者を中心に、特段の変化がない場合は、3か月に1度、モニタリングとアセスメントを行い、ケアプランの更新を行っている。カンファレンスでは一方的な視点に陥らないよう、多角的に検討させていただいている。                                  |      |                   |
| 27   |      | <b>○個別の記録と実践への反映</b><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。                        | ケース記録やケアチェック等、申し送り等でスタッフ間で情報の共有に努め、カンファレンスでは、状態把握につとめケアプランの更新に役立っている。   |      |                   |
| 28   |      | <b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b><br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。               | ご本人やご家族の状況の変化を把握確認し、常に見直しを行い、試行しながらケアを提供できるように努めている。  |      |                   |
| 29   |      | <b>○地域資源との協働</b><br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。                         | 中学校の職場体験の場の提供や、日頃の地域の方との交流や行事への参加等が挙げられるが、コロナ禍で中断している。  |      |                   |
| 30   | 11   | <b>○かかりつけ医の受診支援</b><br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。                    | ご本人やご家族のご希望に沿った医療機関を主治医とさせていただき、定期的に往診いただき状況報告相談させて頂いている。また、3か月に1度は定期検診を受けていただいている。状況に応じて他科の往診もいただいている。緊急時以外では、受診はご家族にも支援いただいているが、コロナ禍で頻度は減少している。 |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目( GH4F )   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|--|---|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31   |      | <b>○看護職員との協働</b><br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。                      | ご本人の体調や日頃の状態の変化等を適切に看護職に報告相談し、指示を受けている。必要な場合は、受診往診等につなげている。夜間は、看護職がオンコールにて連絡相談指示を受けられる体制になっている  |      |                   |
| 32   |      | <b>○入退院時の医療機関との協働</b><br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。  | 入退院時の介護看護サマリーを作成し、地域連携室と情報交換をしながら、速やかに退院できるように努めている。また、ご家族の意向も考慮し判断いただいている。   |      |                   |
| 33   | 12   | <b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b><br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 重度化や終末期医療については、ケアセンターで出来る事出来ない事をご家族に伝え、繰り返し意向の確認を期を逸することなく行い、主治医や看護師と連携しながら行っている。   |      |                   |
| 34   |      | <b>○急変や事故発生時の備え</b><br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。   | 個々のご利用者の持病の悪化予測や急変、AED設置、夜間のオンコールの体制づくりをしている。また、スタッフ塾において、事故発生や感染症発生時の適切な対応についても、繰り返し実践する機会もあるが、コロナ禍の中で、資料を回覧し周知を図っている。または、カンファレンス時に話し合う機会を持っている。 |      |                   |
| 35   | 13   | <b>○災害対策</b><br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。   | 年に2回の消防訓練、日勤帯や夜間帯の想定訓練を実施している。また、運営推進会議において、地域の消防署より水害や消防、地震等の研修をしていただき、運営推進委員の方にもご参加いただき、協力体制の構築に努めていたが、コロナ禍のため報告のみとなっている。                       |      |                   |

| 自己評価                     | 外部評価 | 項目( GH4F )  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|--------------------------|------|---|---|------|-------------------|
|                          |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |   |   |      |                   |
| 36                       | 14   | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br><br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。                | スタッフ塾において、接遇や個人情報保護の研修を開催し、言葉かけや対応等の確認をしている。また、日頃のケアの中で、何気なく行っている対応もスタッフ間でより良い対応ができるよう試行錯誤している。                                       |      |                   |
| 37                       |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。                     | ご本人の表情や言葉からご本人の意向をくみ取り、希望に沿った支援をさせて頂いたり、また、表現できるようにご本人のペースに合わせて働きかけている。   |      |                   |
| 38                       |      | ○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 出来るだけご本人の意向にそった生活を送っていただけるように支援をする用意はあるものの、コロナ禍で希望される買い物や外出はできずにいる。   |      |                   |
| 39                       |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。                                  | 約2か月に1度の訪問理容、希望される場合には月に1度利用されたり、誕生会や外出時には、ご本人の好きな洋服を着ていただいたり、時にはお化粧品もしていただいたりして、少しでも気分が晴れやかになるように支援している。ただコロナ禍のためなじみの美容室への利用はできていない。 |      |                   |
| 40                       | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。     | ご本人の好物や、旬の食材を取り入れた食事の提供を心掛けている。また、行事等では献立や準備から配膳片付けまで、できる範囲でお手伝い頂いている。  |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目( GH4F )   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|--|--|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス，水分が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。                  | 摂取量や水分量を記録し、体調や体重管理と血液検査等のデータから体調の維持に努めている。また、疾病のある方には栄養水分の管理を特に細かくしており、水分の進まない方には好みの物やゼリーや栄養補助食品の提供等、脱水等にも留意し、嚥下機能が低下されている方には、トロミ付けや刻み、食べやすい食形態にして提供している。 |      |                   |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br><br>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。                         | スタッフは口腔ケアの重要性を理解しており、食後は口腔ケアをしていただいている。個々の能力を勘案し、口腔内の清潔保持に努めている。また、必要な方には訪問歯科を利用していただいている。   |      |                   |
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br><br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。          | 排泄に関して、様々なアセスメントを行い、状況に応じてトイレやポータブルトイレを利用いただき、声掛けや随時誘導、定期誘導させていただいている。利用される物品に関してもご利用者に合わせている。   |      |                   |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br><br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。                          | 水分摂取管理や、乳製品の提供、繊維質食品を取り入れ、腸の活動を促す運動の促進や、主治医より処方された薬などを利用しながら、体調管理をさせていただいている。  |      |                   |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br><br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。 | ご高齢であることから3日に1度の入浴やシャワー浴をしていただいている。希望されない場合は、時間帯や日をずらし、体調がすぐれない場合は、無理をせず陰部洗浄や全身清拭、足浴等も取り入れている。   |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目( GH4F )   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------|------|--|---|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います  | 実施状況  | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46   |      | <b>○安眠や休息の支援</b><br><br>一人ひとりの生活習慣やその時々<br>の状況に応じて、休息したり、安<br>心して気持ちよく眠れるよう支<br>援している。   | 日中は外気浴や散歩等で日光を<br>浴びいただき、軽い運動や活動<br>を取り入れ、夜間安眠されるよ<br>うに努めている。ご本人に合わ<br>せて短い時間の休養も取り入<br>れている。また、照度や温度、<br>湿度もご本人に合わせて調整<br>している。 |      |                   |
| 47   |      | <b>○服薬支援</b><br><br>一人ひとりを使用している薬の<br>目的や副作用、用法や用量につ<br>いて理解しており、服薬の支援<br>と症状の変化の確認に努めてい<br>る。   | スタッフは、現病に対しての処<br>方薬の効果や副作用を理解し、<br>変更があった場合には状態変<br>化に早期に気付けるように留<br>意している。また、服薬方法等<br>無理なく確実に服用頂けるよ<br>うに支援している。                |      |                   |
| 48   |      | <b>○役割、楽しみごとの支援</b><br><br>張り合いや喜びのある日々を<br>過ごせるように、一人ひとりの<br>生活歴や力を活かした役割、嗜<br>好品、楽しみごと、気分転換<br>等の支援をしている。  | 本人の趣味や生活歴などの情<br>報から、張り合いや喜びを感じ<br>いただけるように、レクレーシ<br>ョンや食事等で、楽しみ事や<br>力を発揮できるような支援を<br>行っている。                                     |      |                   |
| 49   | 18   | <b>○日常的な外出支援</b><br><br>一人ひとりのその日の希望に<br>そって、戸外に出かけられる<br>よう支援に努めている。また、<br>普段は行けないような場所<br>でも、本人の希望を把握し、<br>家族や地域の人々と協力しな<br>がら出かけられるように支援<br>している。 | 天気の良い日には、屋上に行<br>き花や野菜の収穫や水やり、<br>近所を散歩していただいたり、<br>コロナ禍前は、買物等近所の<br>スーパーにお連れしたり、時<br>にはご家族とお食事や外泊等<br>の支援をしていたが、現在は<br>できていない。   |      |                   |
| 50   |      | <b>○お金の所持や使うことの支援</b><br><br>職員は、本人がお金を持つこ<br>の大切さを理解しており、一<br>人ひとりの希望や力に応じて、<br>お金を所持したり使えるよう<br>に支援している。   | 管理が必要な方には、入居時<br>に5,000円以上10,000円未<br>満をお預かりし、希望され<br>たり必要な物品を代理購入<br>している。   |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目( GH4F )  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|---|--|------|-------------------|
|      |      | 上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います   | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br><br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。   | ご本人やご家族のご希望に沿った電話やテレビ電話ができるように支援している。また、面会時にはご家族からあるいはご本人からの手紙のやり取りを支援している。特にコロナ禍では特にご協力をお願いしている。                                  |      |                   |
| 52   | 19   | ○居心地の良い共用空間づくり<br><br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 季節に応じた花を屋上に植え、育てる楽しさを感じていただき、花を摘んでリビングなどに飾っている。また、季節にあった壁紙をご利用者にお手伝いいただき作成している。<br>生活空間の環境整備(温度・湿度・換気・照度・音・匂い・感染予防・清潔・安全)にも配慮している。 |      |                   |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br><br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。  | ご利用者の関係性や、聴力視力に応じた席の配置をさせていただいている。時には、お一人で作業ができるよう、席を移動する等の配慮をしている。  |      |                   |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。  | インテーク時に家具やベッドの位置等を確認させていただき、再現できるように支援している。また、思い入れのある物については、お持ちいただきご本人が安心されるように配慮している。   |      |                   |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br><br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。  | リビングや居室では、ご本人の状態に合わせ安全を考慮し、福祉用具やベッド柵やセンサーの設置、家具の配置等動線の確保をさせて頂いている。また、大きな日めくりカレンダーを用意している。  |      |                   |

| V アウトカム項目( GH4F ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 56                                      | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。                     | ○ | ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の3分の2くらいの<br>③利用者の3分の1くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 57                                      | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                          | ○ | ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない                    |
| 58                                      | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 59                                      | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている                | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 60                                      | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている                          | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 61                                      | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている                    | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 62                                      | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 63                                      | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の3分の2くらいと<br>③家族の3分の1くらいと<br>④ほとんどできていない    |

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                          | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように<br><input type="radio"/> ②数日に1回程度<br><input type="radio"/> ③たまに<br><input type="radio"/> ④ほとんどない                    |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている<br><input type="radio"/> ②少しずつ増えている<br><input type="radio"/> ③あまり増えていない<br><input type="radio"/> ④全くいない             |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている  | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が<br><input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが<br><input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない       |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                             | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が<br><input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが<br><input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない    |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                         | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が<br><input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが<br><input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどできていない |



(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 株式会社 ビー・スマイル

作成日 令和 3 年11月18日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題                                | 目標                           | 目標達成に向けた具体的な取組み内容               | 目標達成に要する期間 |
|------|------|--|------------------------------|---------------------------------|------------|
| 1    | 4    | コロナ禍で運営推進会議が中止になっていて防災訓練など消防署講師を招いての訓練ができてない | コロナ自粛解除し2022年1月の運営推進会議の実施したい | 消防署職員の講話、消火器を使用した訓練、マニュアルチェックなど | R3年9月      |
| 2    |      |  |                              |                                 |            |
| 3    |      |  |                              |                                 |            |
| 4    |      |  |                              |                                 |            |
| 5    |      |  |                              |                                 |            |
| 6    |      |  |                              |                                 |            |
| 7    |      |  |                              |                                 |            |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。